

アンケート結果

2021年日本生態学会岡山大会

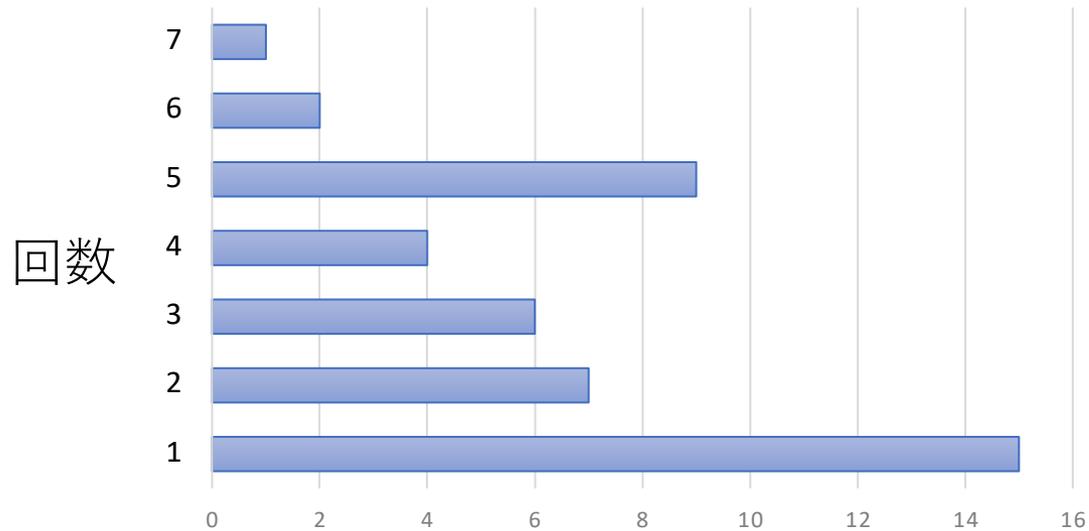
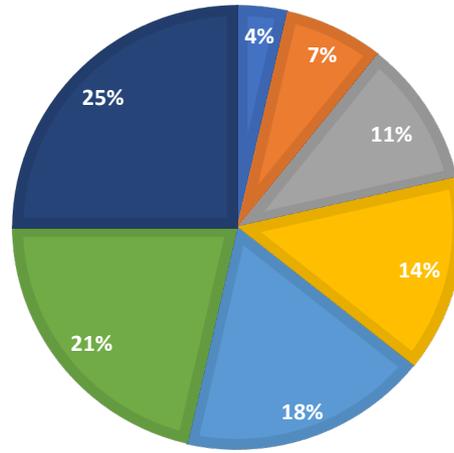
第一回「今日はモアイに行こう」

回答者 メンター18名 メンティー46名

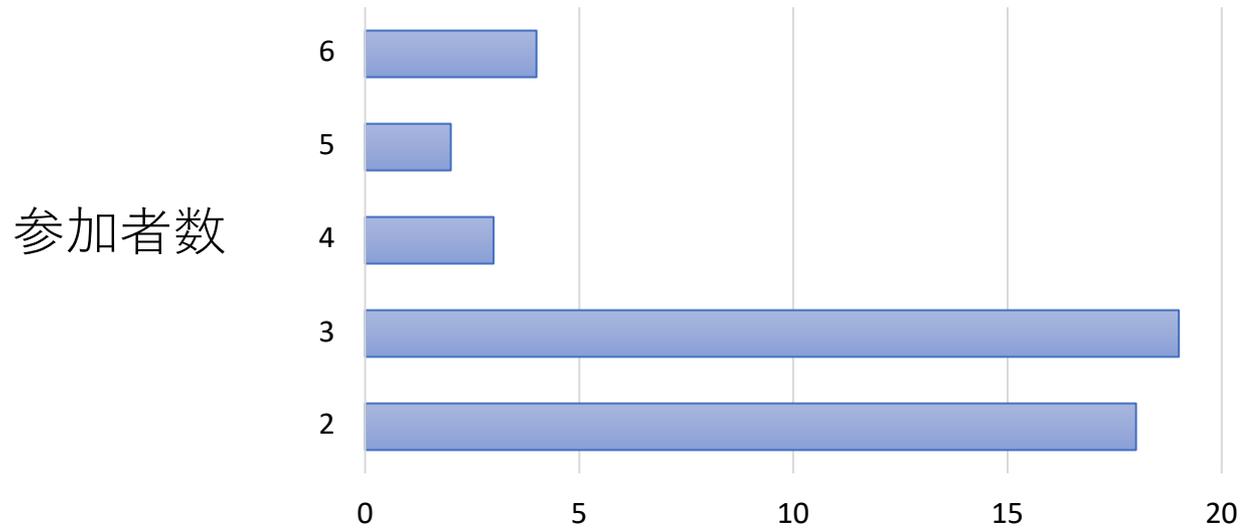
メンテナー回答結果

Q1. 生態学会年大会へは、何回目の参加ですか？

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7

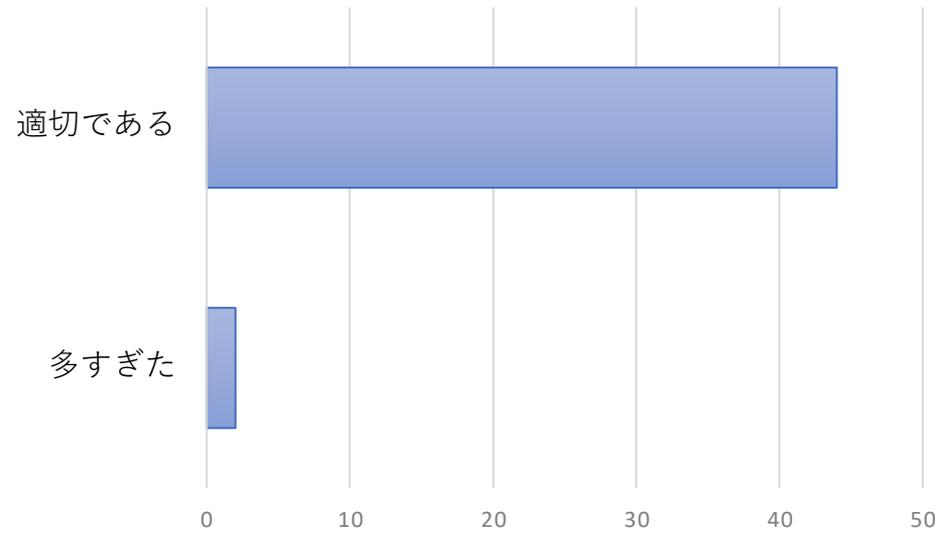
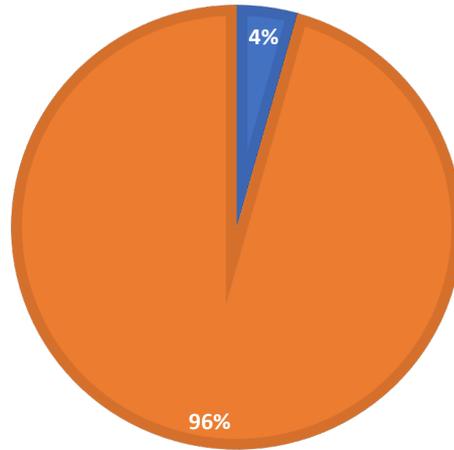


Q2. あなたとメンターを含めて面談には何名の参加者がいましたか？



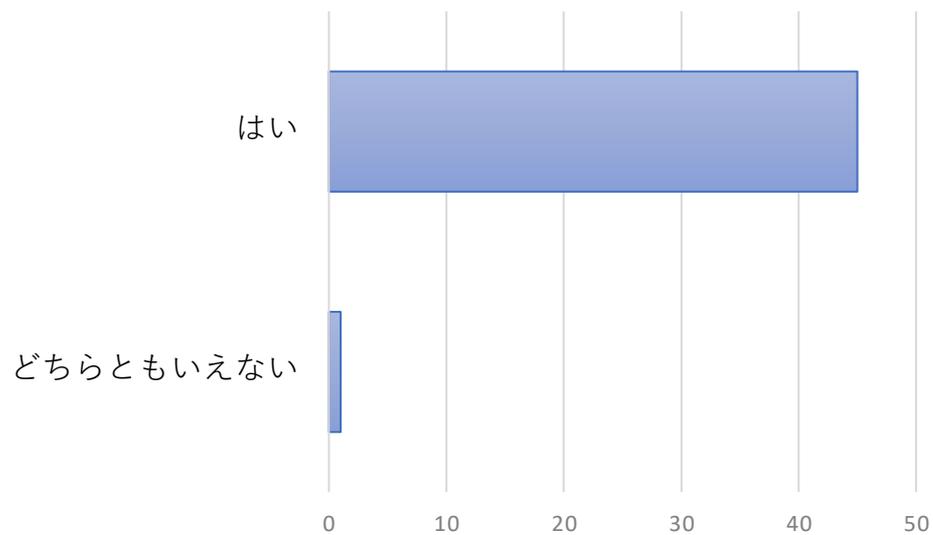
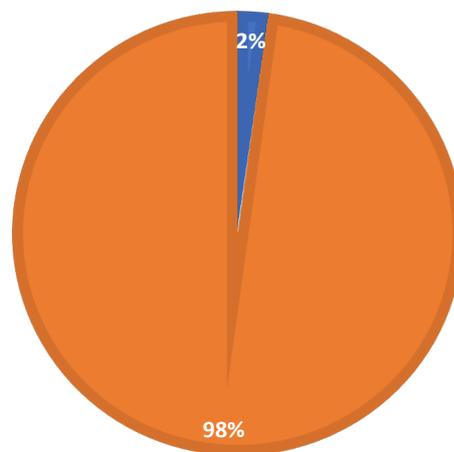
Q3. 面談への参加人数は適切でしたか？

■ 多すぎた ■ 適切である



Q4. メンターとの交流は有意義だと感じましたか？

■ どちらともいえない ■ はい



Q5. 上記回答の理由を自由に記述ください。

普段だったら絶対に話せないような方と話すことができ、大変満足している。特に今回参加者が少なく、1対1だったため、深い議論ができた。おそらく複数人参加だと、ここまでの議論はなかなか難しいのではと感じた。メンティーの負担が大きいと思うが、できるだけ1対1の交流が良いのではと感じた。

今回のメンターの方は、以前から非常に興味があり一度お話ししたいと思っていた研究者だったが、自分から声をかけるのは正直非常にハードルが高かった。しかし今回、交流の場を提供していただいたこと（&偶然にもメンターの一人として企画に関わっていたこと）で、ハードルを難なく飛び越え、目標を一つ叶えることができた。加えて、私の場合は一対一でお話しさせてもらったので、相談したいこと+ α を話すことができ、想定以上に濃い交流になったと感じている。

これまで話す機会のなかった憧れの先生と、じっくりお話しすることが出来たから。

女性研究者の先輩が周りにほとんどいないため

有名な研究者の方のキャリア選択の際の考え方など、ホームページには載っていない生の意見が知れてよかった。

研究者として何を考えるべきかや、自分のプレゼンスを示すことの重要性などさまざまな話を聞くことができた。

根拠のある的確なご意見を頂けたから。

とても丁寧に話を聞いて頂いたり、話をしてもらえた。研究のことやキャリアのことなど、様々な話を伺えた。

面識はないが自分の専門領域に近い先生に、自分の研究に関するコメントと評価をしてもらえたから

研究者として、人生の大先輩から、なんとかなるマインドと、大事にするべきことを襲われたから

90分に対して5人の学生と1人のメンターだったので、個人に充てられる時間が短くなるかと思ったが、メンターが「個人的な相談は後で個別にメールしてください」と言ってくれたので、割と平等に共通話題について話せました。

詳しくに自分の説明を聞いて、先輩研究者の体験から勉強して、同時に同輩の研究者のアドバイスも受けられて、後は自分で考える方向があると思いました。

直接会って話す機会がない中、気軽に申し込めて自由に質問でき、メンターも質問に対して真摯に返答をしてくれて満足した。

モアイの時間そのものは、自分の相談したい内容は他の参加者とは違って直接は相談できなかったけれども、後で個人的にメールで相談させてもらえたり、他の参加者と交流が広まって新たな可能性が広まったと思うので、良かった。

私は種子散布について、動物側からみて研究を進めているのですが、モアイでは植物側からみた種子散布についてのお話を聞くことができ良かったです。また、懇親会など非常に大人数の人が集まる場では、今回メンターとなっていたような先生方になかなか話かけることができないので、モアイのように少人数でじっくりとお話できる機会を設けていただけたことが非常に良かったです。

学会では聞けない、議論に上がらない本音の意見をいただけて自分の視野が広がったため。

自分の分野では話す機会がない分野のメンターの経験を直に聞いて、研究やキャリア形成の考え方の幅が広がった。

研究を行う上で不安だった面や、論文執筆、将来の進路など様々な質問に対してご意見をいただくことができました。

近い距離でメンターと話せたから

研究のことやキャリアのことについて相談できた

初めは初対面の先生と1対1での面談になってしまったことに不安や心細さ、緊張を感じていましたが、始めてみると先生の人柄もあってかとても和やかで緊張することなく、また周りの学生を気にせずに思いの丈を先生に話すことができたことがとても有意義で貴重な体験でした。

自分の考えが整理できた

知りたい内容を聴くことが出来ましたし、また、他の参加者の質問に対するメンターの答えからも色々と有意義な話を伺うことが出来ました。

Q5. 上記回答の理由を自由に記述ください。 続き

長く質問してしまうと他の人が相談する時間を自分が減らしてしまうように思う人もいたと思うので、1対1が良かった。そのほうがプライベートな話もできて具体的に相談しやすい。

普段なかなかつながらず機会のない先輩研究者と一対一で1時間の交流ぶができたのはとても良い経験でした。

分野外の先生に、客観的な視点で自分の研究を見てもらうことが出来ました。普段は自身の専門分野もしくはその周辺分野の先生にご意見を伺う事が多いので、とても有意義だと感じました。また、1人の先生に十分に時間を取って頂いたことで、より深く研究内容について議論することが出来たと思いました。

色々とならなる話が出来たから。

親しい人にも親しくない人にもなかなかできないような踏み込んだ話が出来たような気がします。

一人のメンターを独占して聞きたいことが聞けたから。

自分は学部一回生ということもあり、研究という活動に対してまだ距離を感じざるを得ない状況ですが、活躍されている研究者の方と話す機会をいただけたことで研究に対する距離が縮まったと感じれたからです。

しようと思っていたデータサイエンス・海外の質問ができ、参考になる回答を頂けたから

メンターから研究者キャリアに関する話を聞けた

このような機会がなければ聞きにくい（話す時間がとりにくい）ことも多々あるので、とてもよいきっかけになった。

自信が研究する分野は複合的になることも多く、研究室の専門分野以外はなかなか相談できないことがありました。研究室とは別分野の話を専門家に聞けたのはうれしかったです。

今後の進路について参考になった

自身の研究に対して真摯に改善案やアイデアを出していただいたので、非常に有意義な時間がすごせました。

自分が新しく取り組みたい研究についていいアドバイスをもらえたから

通常、既に交流を深めた方でないといけないような質問や研究の相談を、初対面にもかかわらずさせて頂くことが出来たため。他のメンティーの方のお話を聞くことが出来る点も有意義でした。

話したいことが話せたし、聞きたいことが聞けたから。

メンターの方の経験をカジュアルに聞くことができたため。

話したいことが話せたし、聞きたいことが聞けたから。

自分は学部一回生ということもあり、研究という活動に対してまだ距離を感じざるを得ない状況ですが、活躍されている研究者の方と話す機会をいただけたことで研究に対する距離が縮まったと感じれたからです。

自身の研究についてアドバイスを頂けたのが大変助かった。また、塩漬けしていたデータが活用されそうなアドバイスも頂けて、非常に有意義だった。

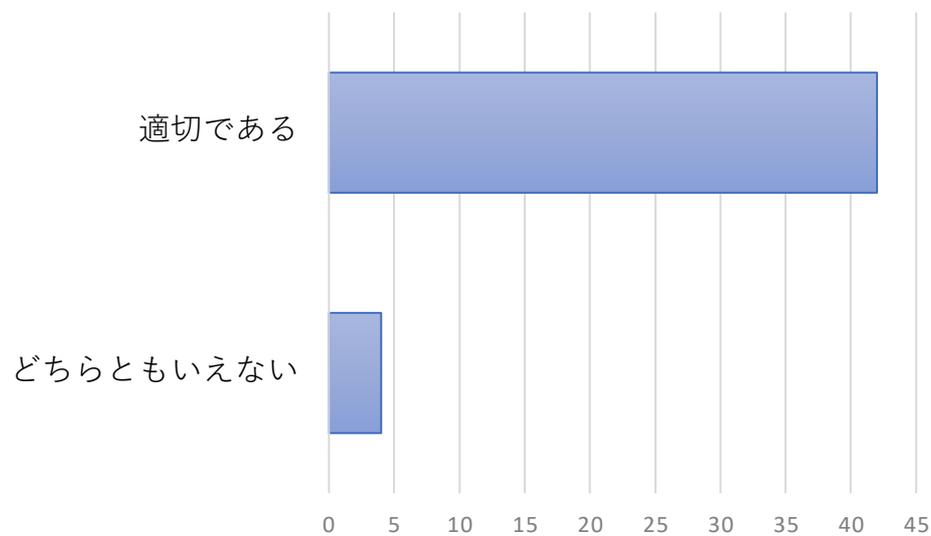
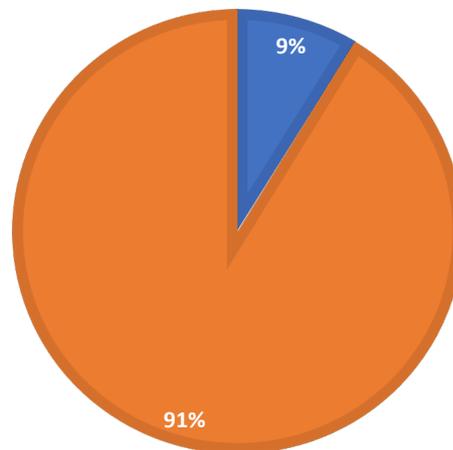
自分の研究活動、これからの進路について見直すお話やアドバイスを聞くことができた。

対面での学会では、年齢や分野の差からあまりお話しする機会のない方と交流できたからです。これまでの人生におけるキャリア選択についてお話しいただき、1人の研究者の人生を垣間見ることができました。対面の学会や懇親会では、長時間にわたり初対面の方とお話する機会はありませんので非常にありがたい機会だったと感じています。

参考になる意見を頂けた

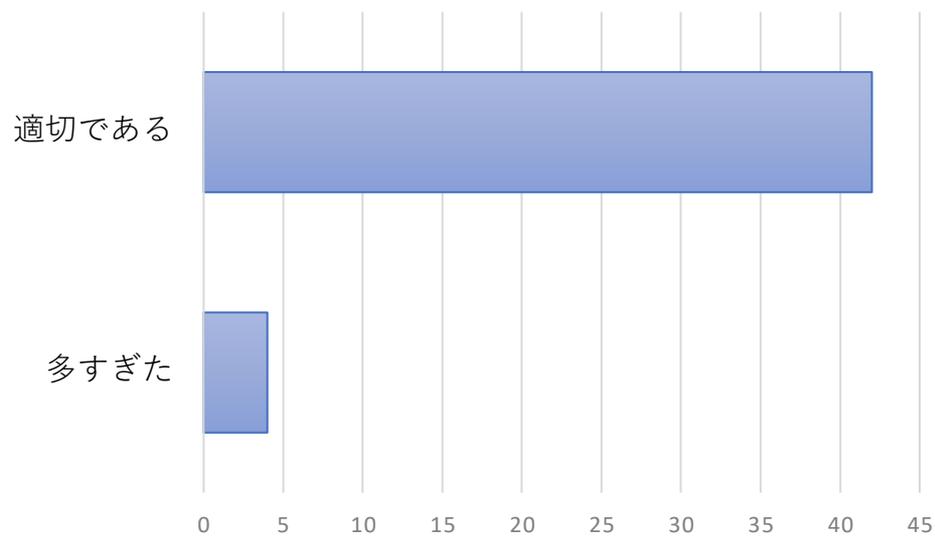
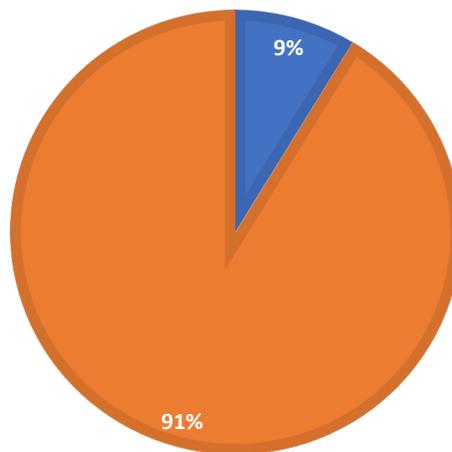
Q6. 面談の時間帯や配分時間は適切でしたか？

■ どちらともいえない ■ 適切である



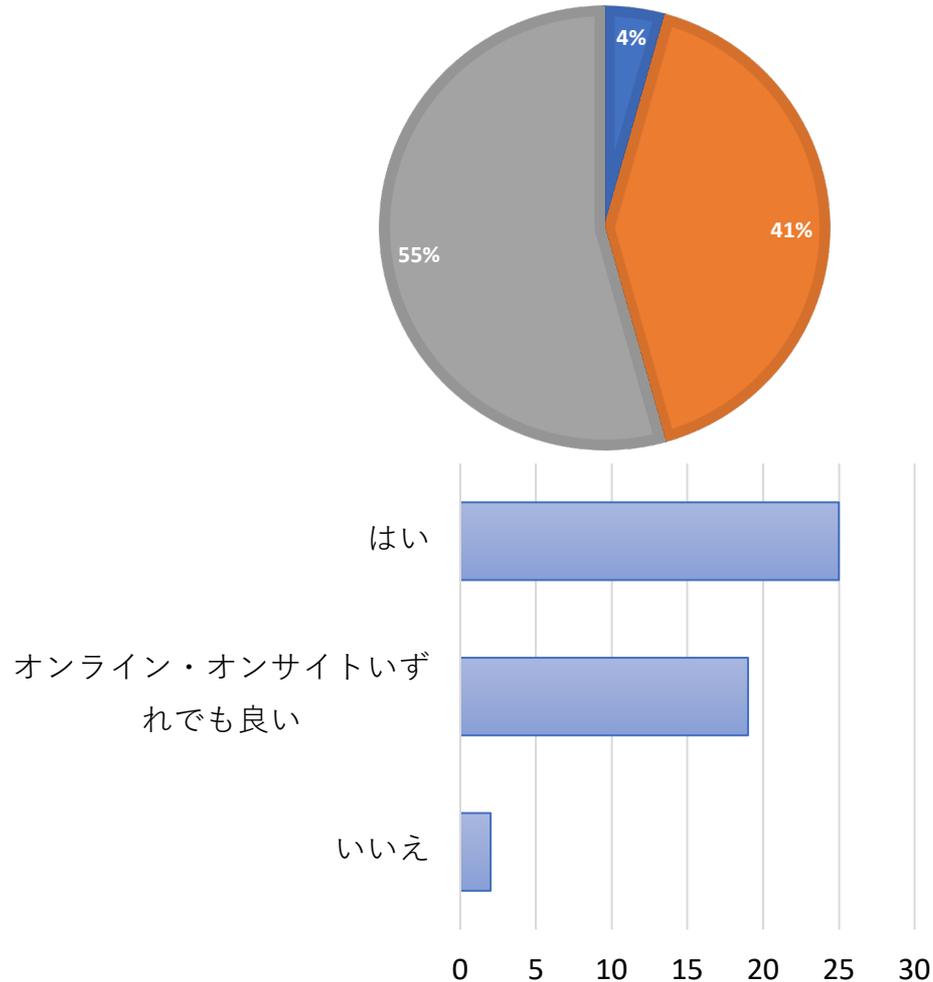
Q7. 本企画のHPで紹介されたメンターの人数は適切でしたか？

■ 多すぎた ■ 適切である

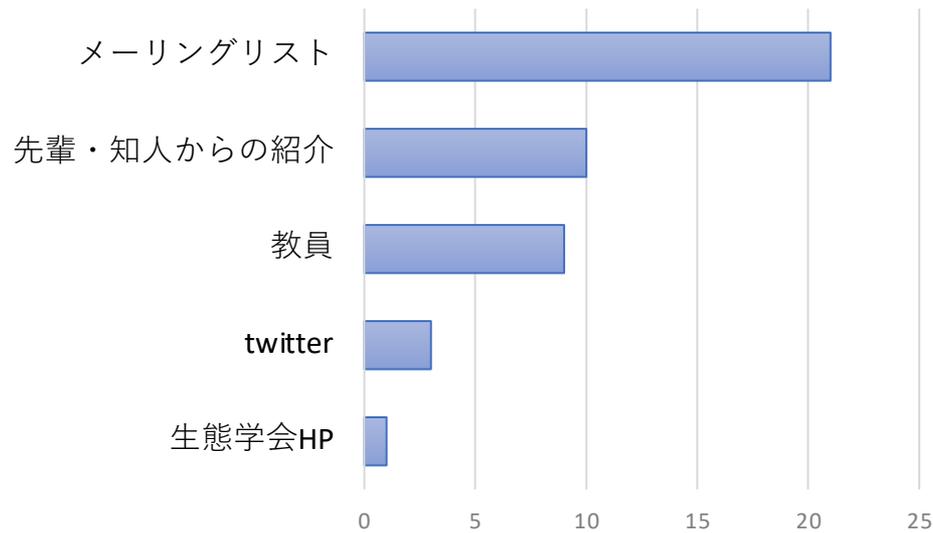
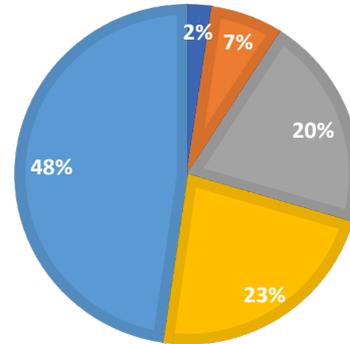


Q8. 今回はオンラインでの開催となりましたが、オンサイトでの開催が可能ならば直接会って相談をしたいですか？

■ いいえ ■ オンライン・オンサイトいずれでも良い ■ はい

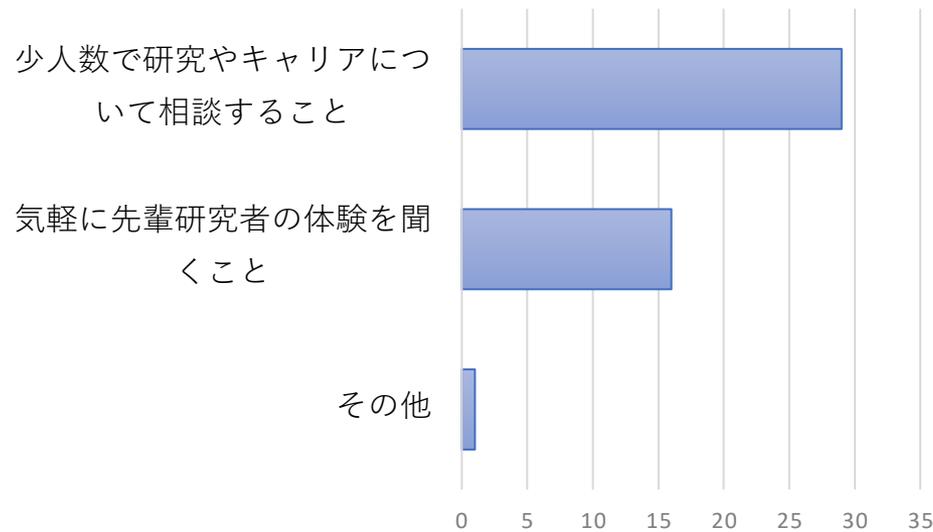
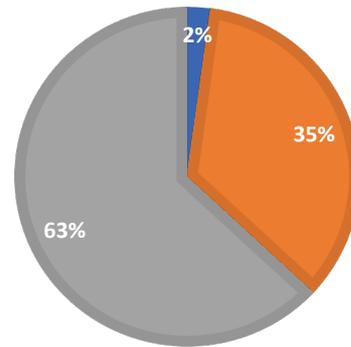


Q9. 本企画はどのように知りましたか？



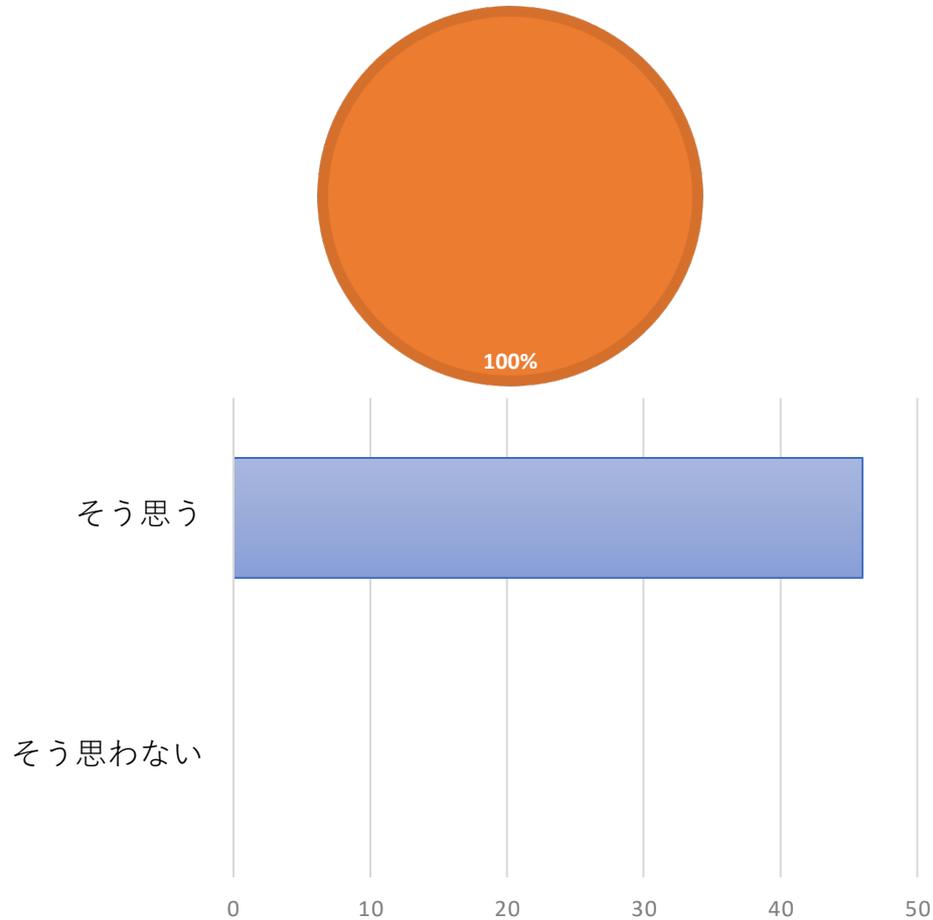
Q9. 本企画で期待する交流はどのようなものですか？

- その他
- 気軽に先輩研究者の体験を聞くこと
- 少人数で研究やキャリアについて相談すること



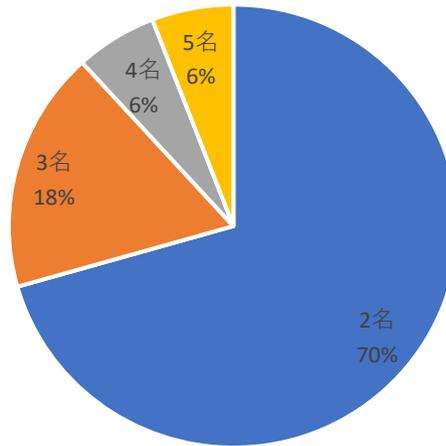
Q10. 本企画に再度参加したいですか？
また、周囲に参加を勧めますか？

■ そう思わない ■ そう思う

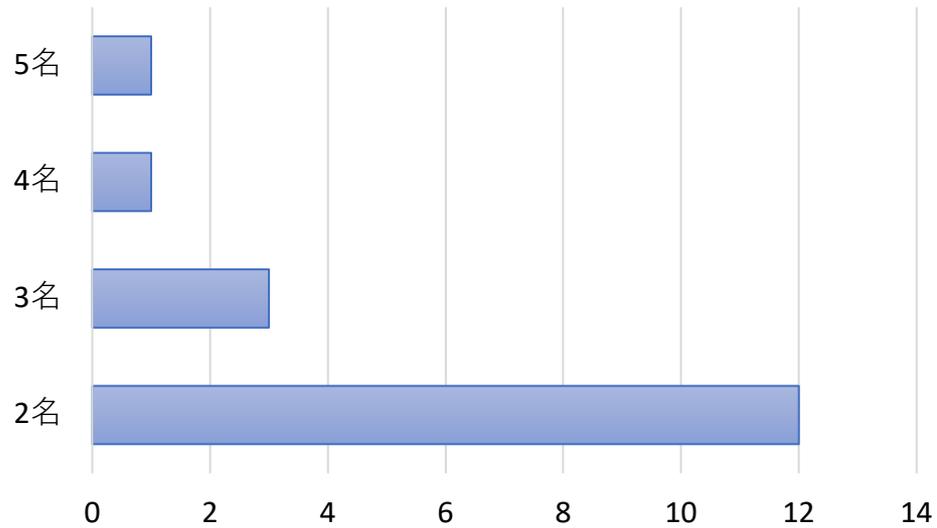


メンター回答結果

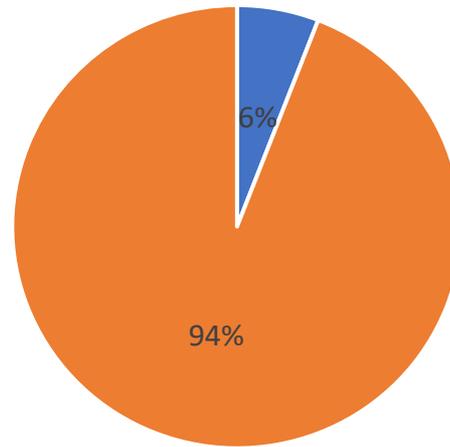
Q1. 何名のメンティーと交流されましたか？



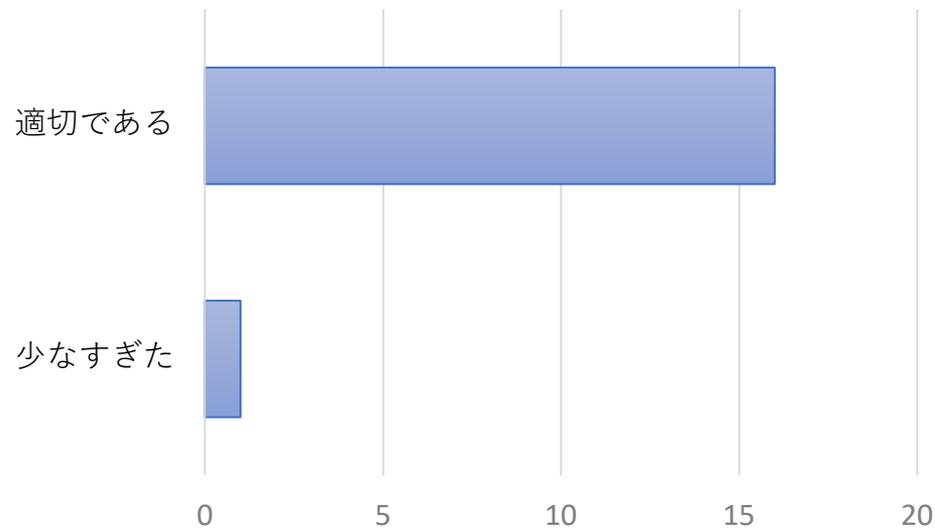
■ 2名 ■ 3名 ■ 4名 ■ 5名



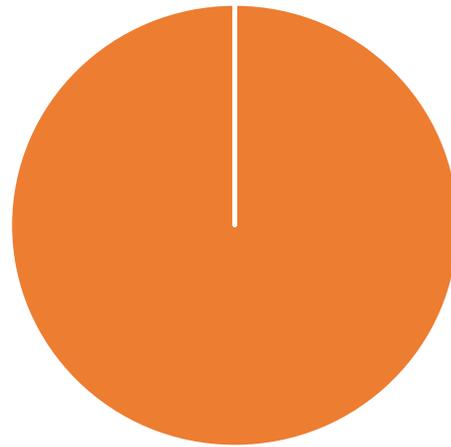
Q2. メンティーの人数は適切でしたか？



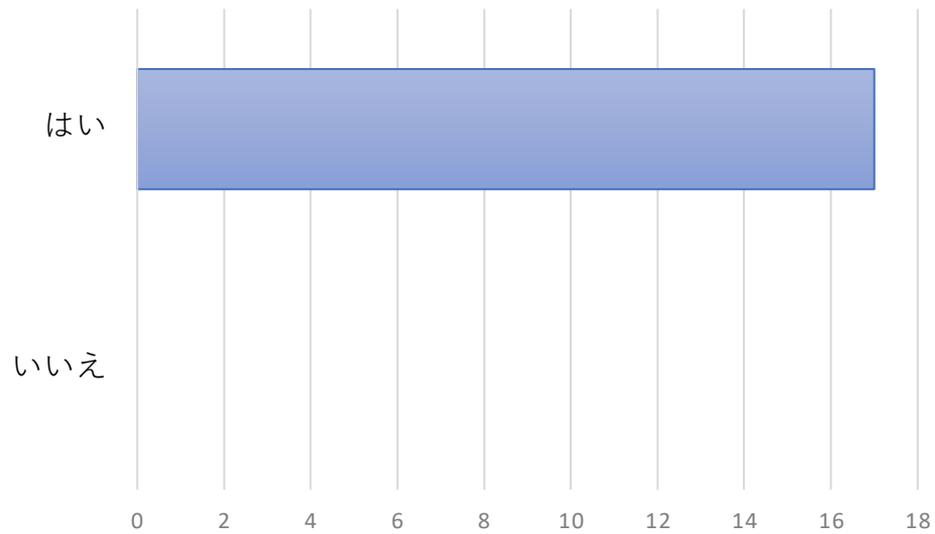
■ 少なすぎた ■ 適切である



Q3. メンティーとの交流は有意義だと感じましたか？



■ いいえ ■ はい



Q4. Q3への回答理由を自由に記述ください。

研究のことだけでなくキャリアパスなどについて色々と話ができた。単純にお互い楽しめた。

メンティーは聞きたいことがあって話に来てくれた人たちですが、求められている回答がそれなりにできたのではと感じたから。

皆さん対話を楽しみにして下さったみたいで、そんな若い方に貢献できるのは素敵な体験でした。

日常メンティーが触れることが少ない情報を多く提供できた

オンラインだと知り合いでない人との交流に限られるため。

新鮮な話ができるのはなによりも刺激的だからです。

世代の違う人たちとの交流で生態学の中で変わらないもの、変わりつつあるものが見えてきた。

一人一人と話せたのでよかったです。一人1時間をとりました。

メンティーだけでなく、メンターにとっても普段とは異なる角度からの研究トークもできましたし、色々な研究室運営にも触れられてよかったですと思います。

アドバイスの結果、いくつか具体的な計画の追加を決めたメンティーがいました。役に立てたのではと思います。

メンターもメンティー楽しめたし、相互に得るものが多かったと思う

学生がどのようなモチベーションで学会に参加したのか、オンライン学会はどうだったのかなど、興味のあることをたくさん逆に学ばせていただきました。

オンライン学会では新しい知り合いと雑談をする機会が少ないため、メンターにとっても重要な機会になった。

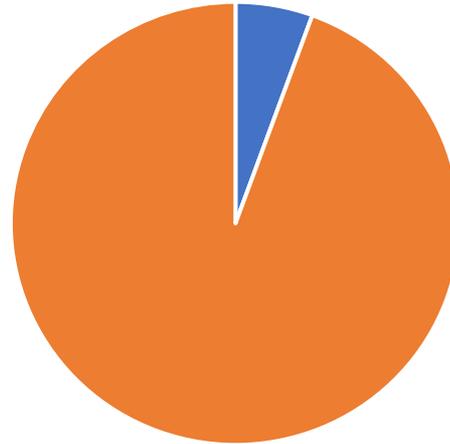
指導／被指導、評価／被評価という関係ではなく、学生が身の回りではない外部にいる研究者とフラクに交流や議論ができるのはとても良い。サイエンスにとっても健全である。よほど積極的で意欲にあふれる人物でない限り、学生のうちに外の研究者と研究のこともそうでないことも自由に話したり相談する機会はない。これまでは飲み会か、ポスター発表かの場面にほぼ限定されていた。実はいずれも特殊な環境条件ともいえる。オンラインであることも互いの緊張を緩和するのに奏功したかもしれない。

フォーマルではない場で、女性研究者同士で話し合えたため

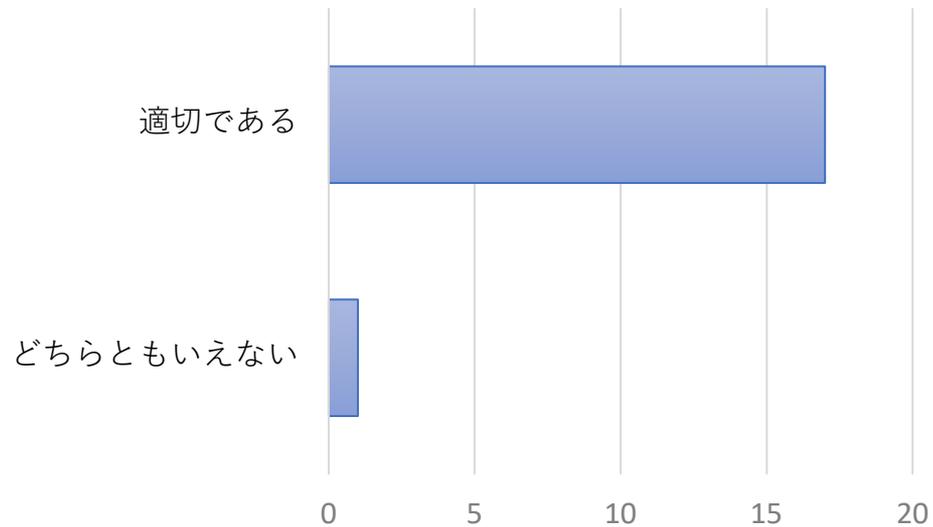
自身の知らない研究分野の話、いいこと、悪いことを含め、学生の様々な話を聞くことができたから。

メンティーの方々は、コロナ禍だったり、研究室に同期がいなかったり、地方の大学だったりして、研究の話を気軽にする機会をなかなか得られないということで、モアイのお知らせがあった際にすぐに登録したとのことでした。ざっくばらんにいろいろなことを話せてよかったです。オンラインでの開催というのも、誰でも参加できるということで良かったです。

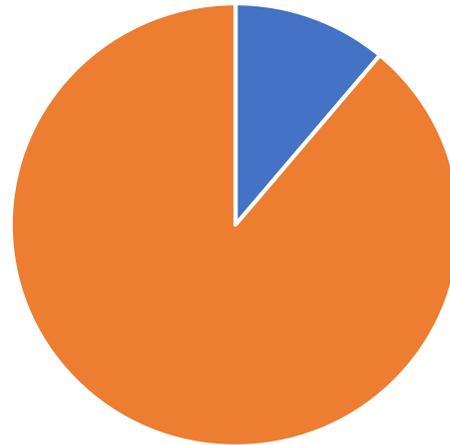
Q5. 面談の時間帯や配分時間は適切でしたか？



■ どちらともいえない ■ 適切である



Q6. 面談の時間帯や配分時間は適切でしたか？



■ いずれでもない ■ そう思う

